

令和 7 年度 第 7 回春日区地域協議会

次第

日時：令和 7 年 11 月 12 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第三会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

自主的審議事項について（地域のコミュニティについて）

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日 時：令和 年 月 日 () 午後 時 分～
- ・会 場：_____
- ・内 容：_____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）

その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）

その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）

その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）

その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

自主的な審議のフレームワーク

テーマ①

○○○○○について

～子どもたちが愛着を持てる春日～

市内の地域自治区で人口増減率を比較した際、春日区では減少傾向が見られず、子どもの人数も多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と高齢化の進行
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、子どもの市外・県外流出
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>○春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ伝承する。</p> <p>ポイント（条件）</p> <ul style="list-style-type: none"> “変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること 忘れられない思い出があること 大人がかっこいい見本になること 達成感があること 子どもの頃から取り組み、身につく事 <p>具体的解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> 春日村歌 謙信公検定 読み聞かせ 紙芝居
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	

自主的な審議のフレームワーク

令和7年度第7回春日区地域協議会
令和7年11月12日
3議題(1) 自主的な審議
資料No.2

テーマ②

○ ○ ○ ○ ○ について

～誰もが誰かとつながっている春日～

人口の多い春日地区でも、将来の高齢化や組織の役員の成り手、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながっていられるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	<ul style="list-style-type: none"> ①新たなコミュニティ形成が困難 ①担い手、活動の参加者がいない ②空き家の管理状況、防犯面が不安 ③除雪、災害対応が困難
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> ①地域行事への参加しづらさ ②空き家の増 ③高齢者のみ世帯の増
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>○簡単なゲームを通じた世代間交流事業</p> <p>ポイント(条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や健康状態等に関わらず、誰もができること ・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること <p>具体的な解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ ・ウォーキングポイント ・ ・
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

解決策のための協議事項

時期(いつ)	
場所(どこで)	
実施者(誰が)	
物(何を)	
実施方法(どうする)	
数量(どれくらい)	
経費(いくら)	
その他	



令和7年度第7回春日区地域協議会
令和7年11月12日
3議題（1）自主的な審議
資料No.3

自主的な審議のフレームワーク

テーマ②

○ ○ ○ ○ ○ について

～誰もが誰かとつながっている春日～

人口の多い春日地区でも、将来の高齢化や組織の役員の成り手、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながっていられるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	①新たなコミュニティ形成が困難 ①担い手、活動の参加者がいない ②空き家の管理状況、防犯面が不安 ③除雪、災害対応が困難
原因（問題）分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	①地域行事への参加しづらさ ②空き家の増 ③高齢者のみ世帯の増
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	○共通の趣味などを持った人がつながることができるイベントの実施 ・楽市楽座（フリーマーケット） ・趣味等の作品展 ・
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	